



## 一般的な注意：実験試験

実験試験の時間は5時間であり、2種類の実験からなる。それぞれが10点の配点で20点満点となる。既にセットアップがなされている1つ目の実験に先に取り組み、その後2つ目の実験に移ることを推奨する。また、実験にとりかかる前に、それぞれの実験の初めに記載されている指示をよく読むこと。

先に取り組み1つ目の実験で使用する器具は、机の上（や机の上の箱の中）におかれている。2つ目の実験で使用する器具は、机の下におかれた2つ目の箱に入っている。試験終了時には、器具をもともと入っていた箱に戻すこと。ただし、2つ目の実験で使用する水の容器については、水で満杯となるはずなのでそのままが良い。

試験開始と終了の合図は音声でなされる。試験開始を報せる音が鳴るまで、問題が入った封筒および実験器具の箱を開けてはならない。1時間毎に経過時間を報せるアナウンスがあり、試験終了の15分前にもアナウンスがある。

### 試験中

- 支給されたペンだけを使用すること。
- 答えは、専用の解答用紙に記載すること。実験記録や測定データは、Aと書かれた解答用紙の適切な表、空欄、およびグラフに記入すること。各問題に対して、詳細な作業を行うためのWと書かれた白紙のワーキングシートも用意されている。解答用紙Aの最後には追加のグラフ用紙もついている。**必ずその時解いている問題に付属したワーキングシートを用いること**（ヘッダーの問題番号をチェックすること）。解答した内容で採点を望まない部分があれば  をつけること。全てのページについて、表側のみを使用すること。
- 解答はできるだけ簡潔に書くこと：自分の考えを説明する際には、式、論理記号、図を可能な限り用いること。長文の使用は避けること。
- 数値で答えるときは、適切な桁数の有効数字で示すこと。必要な場合は誤差の計算もすること。特に指示のない限り、データ点の数や測定の回数は自分で適切に決めること。
- 前の方の問題を解かなくても後ろの問題を解ける場合がある。
- 許可なく机を離れないこと。助けが必要な場合には、与えられた旗を用いてスタッフに知らせること（トイレに行きたい時は”WC”，水が欲しい時は”H2O”，紙が欲しい時やその他の助けが必要な場合には”HELP”を用いよ）。

### 試験終了時

- 試験が終了したら、ただちに答案を書くことをやめなければならない。
- それぞれの実験に対して、次の順番で用紙を並べ替えなさい：表紙（C）を一番上とし、問題（Q）、解答用紙（A）、ワーキングシート（W）を順に下に並べ、白紙や余分な用紙（Z）が一番下となる。
- 1つの実験に対応する全ての用紙を同じ封筒に入れること。封筒の透明窓から Student Code が見えるようにすること。用紙が入った各実験問題の封筒と、この「一般的な注意」の紙を、大きな封筒に入れること。試験会場からは、いかなる紙も持ち出してはならない。
- 筆記用具は机においていくこと。
- 試験終了時には、器具をもともと入っていた箱に戻すこと。ただし、2つ目の実験で使用する水の容器については、水で満杯となるはずなのでそのままが良い。
- 封筒が回収されるまで、自分の机で待っていること。回収後、試験会場の外へ案内される。